

校長室から (NO. 22)

2学期がスタート



2学期が始まり、はや10日がたちました。子供たちの元気な笑顔と笑い声が戻ってきて、学校は活気付いています。クーラーを設置していただいたおかげで、スムーズに新学期がスタートできているように思います。

新学期の挨拶では、クーラーの設置を理由に、健康第一で、しっかり勉強に励むように、また、「分かるようになりたい、できるようになりたい」という願いを叶えたいときは、クーラーの涼しい風を待っているようなわけにはいかないなどと、クーラーをネタに話をしました。

それが、子供たちに届いたかは定かではありませんが、「何か困ったことがあったら、悩むことがあったら、何でも相談してください」の最後に言った言葉はよく伝わったようです。連日、かわいい相談ごとが舞い込みます。

その1「キング&プリンスの〇〇君が大好きでたまらない。あるテレビ番組で学校に呼ぶ企画がある。校長先生、どうやったら呼べるんですか。」

その2「学校にある怖い話を集めています。何か知りませんか・・・」

その3「質問があります。校長先生は、どうしていつも笑顔でいられるんですか？」

突然の質問に、返した答えが

その1

「そうね…アイドルが放小にやってくるのは、宝くじに当たるより難しいよね…」

その2

「う〜ん、校長室の扉が、誰もいないのに、時々ひとりでにカチャって閉まる時があるわ。(これは、構造上そうなるのを知っていたが、あたかも怖いかに言ってしまった)」

その3「こんな顔で生まれてきたのよ。」

どれもお粗末な回答です。

これでは、かわいい相談ごとも聞かれなくなりますよね。

